

# 世界腎臓デー2015

## in 福島

— 1st Announcement —

2015年 **3月19日** (木)

**19:00~20:30**

コラッセふくしま 4階 多目的ホール

情報提供

中外製薬株式会社

開会の辞

福島県立医科大学 中山 昌明 先生

座長：福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座  
主任教授 渡辺 毅 先生

基調講演

### 「福島県的生活習慣病の現状」

福島県 保健福祉部 健康増進課 主任保健技師 風間 聡美 先生

特別講演

### 「CKD治療と地域連携 ～宮崎地区での試みも含めて～」

宮崎大学医学部医学科 血液・血管先端医学講座 教授 藤元 昭一 先生

閉会の辞

福島県立医科大学 渡辺 毅 先生

\* 日本医師会生涯教育 単位を取得予定。  
\* 福島県病院薬剤師会 単位を取得予定。

※終了後、情報交換会の場をご用意しております。  
お問い合わせ先 (中外製薬: TEL024-933-6303)

共催： 福島県慢性腎臓病対策協議会・中外製薬株式会社  
後援： 慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座・J-CKDI

## 「毎年3月第2木曜日は“世界腎臓デー”」

世界腎臓デーは、慢性腎臓病（CKD）の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な記念日として、2006年に国際腎臓学会（ISN）と腎臓財団国際協会（IFKF）によって共同で提案され毎年3月の第2木曜日に実施することが定められました。

日本における慢性腎臓病（CKD）の患者数は推計1,330万人。治療が必要とされる患者さんだけでも約600万人と推測されており、その数の多さから「新たな国民病」とも言われています。慢性腎臓病は、簡単にいえば人工透析の予備軍であり、脳梗塞・心筋梗塞などとも関連が指摘される病気ですが、新しい疾患概念であることや自覚症状が少ない病気であることなどから、その危険性は十分に知られているとは言えません。そこで、広く一般の方々に、この病気について知ってもらおう、と定められたのが、この“世界腎臓デー”です。

